

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 105-8589

住 所 東京都港区芝3丁目2番8号

氏 名 オリックス自動車株式会社

代表取締役 内藤 進

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	オリックス自動車株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区殿町2-9-14		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	運輸 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	70	物品賃貸業
主たる事業 の内容	自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、中古車販売		
事業者の規模	<input type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	kL
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車の台数	184 台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

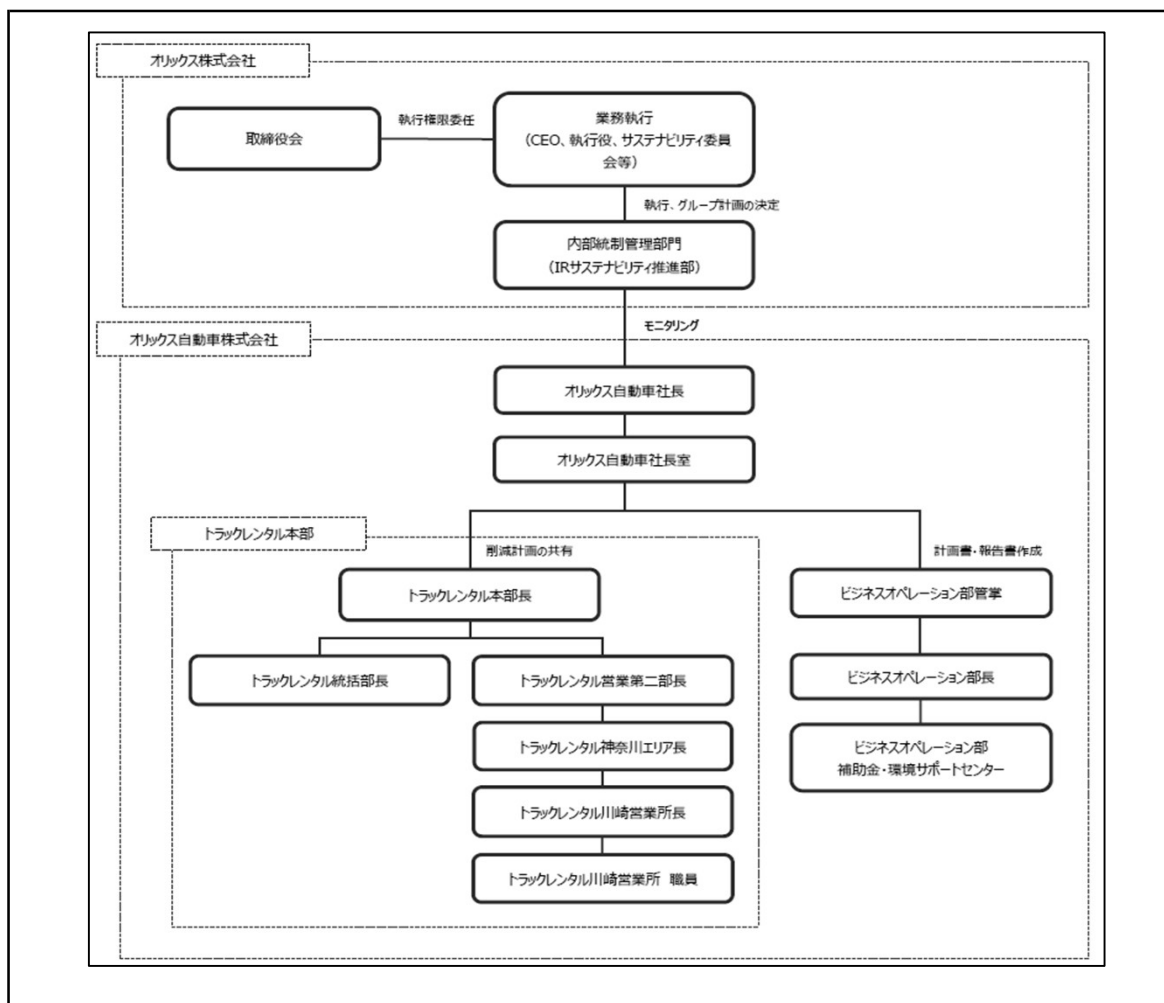
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

オリックスグループでは、お客様や社会のニーズを捉えビジネスを通じて環境・エネルギー問題の解決に貢献します。事業領域の拡大・成長による変化を踏まえ、これに適った対応を進めます。これを受け弊社でもe-テレマを活用したエコドライブを全社的に展開するとともに稼働台数の98%以上を占めるレンタカーの導入にあたり、低燃費車、電気自動車などCO2排出量の少ない車両を積極的に導入して参ります。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

①川崎市内の事業所においては、本計画で策定する温室効果ガス削減目標値を共有し、職員の意識付けを図る。
 ②排出量の98%以上を占めるレンタカー車両については、低燃費車導入による削減効果を毎年の実績報告時にフィードバックし、翌年度以降の新規導入計画の検討材料とする。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	535 535	(基) (調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	519 519	(基) (調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	16 16	(基) (調)	
削減	率	(基) (調)	% %	(基) (調)	3.0 3.0	(基) (調)	% %

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	655 655	(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)	519 519	(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	% %	(基) (調)	20.8 20.8	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

(1) 台数の大半を占めるレンタカー、とりわけトラックレンタカーは景気の動向で稼働率が大きく変動する。計画目標年度においては走行距離は基準年度の100%と設定、燃費性能の良い車両の導入によって全体の燃費は3%向上するとみて、排出量総量では年1%で3年間で3%の削減を見込む。
 (2) 一方、上記の前提条件の下では、走行距離千km当たりの排出量の原単位は基準年度から2.0%の削減を見込む。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	(1) 社有車の営業車両については、テレマティクスのリアルタイムの運転挙動データを活用している。運転者1人1人に対して排出削減につながる運転(アイドリングストップの徹底、急発進、急加速、急減速の禁止)を継続して徹底させる。 (2) 毎月エコドライブに反する運転挙動が多い運転者は氏名も公表し、グループ総務部ならびに上司からも指導を行う。 (3) レンタカーの新規導入車両については、最新の燃費基準達成車を最優先の導入車両にするとともに、低年式車は速やかに入れ替えを進めていく。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

6 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項 (3号該当者等)

(1) 燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)	別紙のとおり				別紙のとおり

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	56 台
小型貨物自動車	52 台
大型バス	0 台
マイクロバス	0 台
乗用自動車	68 台
特種自動車	8 台

イ 対象自動車の内訳

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
次世代自動車	電気自動車				
	プラグインハイブリッド自動車				
	ハイブリッド自動車	53台			55台
	燃料電池自動車				
	その他				
上記以外	131台				129台

(3) 乗用車の電気自動車・燃料電池自動車の導入割合

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
導入割合 (%)					0%

(4) 目標設定に関する説明

保有車両の大半がレンタカーのため、EV車やPHV車のニーズがほぼ無い。そのため乗用車はハイブリッド車を、貨物は最新の燃費基準達成車に入替を進める。

(5) 計画期間の燃費の向上、次世代自動車導入の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する燃費の向上、次世代自動車導入等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 5 及び 6 等を参考に記載してください。)

<p>計画</p>	<p>乗用車はハイブリッド車を、貨物は最新の燃費基準達成車に入替を進める。</p>	
<p>第 1 年度</p>		
<p>第 2 年度</p>		
<p>第 3 年度</p>		
<p>計画期間における燃費の向上、次世代自動車導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)</p>		
<p>上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)</p>		

車種別燃費

燃費 (km/L)	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
ガソリン自動車等 1.4t未満	18.48				18.80
ガソリン自動車等 2.2t未満	17.14				17.40
ガソリン自動車等 2.2t以上					
バス 10t未満					
バス 10t以上					
貨物 3.5t以下かつ1196kg未満	12.46				12.70
貨物 3.5t以下かつ1196kg以上					
貨物 7.5t未満	7.93				8.00
貨物 7.5t以上	5.89				6.00

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明有・計画有			
内容	2050年3月期までに、オリックスグループのGHG(CO2)排出量を実質的にゼロとする。			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030年度	年度	年度	年度
	50%削減 (2020)年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	事業活動や他の者の脱炭素化につながる取組有			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法人向けEV急速充電施設の設置事業推進、EV導入時の充電設備設置工事の紹介による顧客負担軽減とEV導入推進。 ・海外EVの導入による、顧客選択肢の拡大。 ・当社発行のガソリンカードでのガソリン使用量に応じたカーボンオフセットサービスの提供。 ・車両メンテナンスの部材や部品の中古品使用率向上、環境負荷の少ない商品への切替(サーキュラーエコノミー) 			

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	有			
内容	2030年3月期までに、オリックスグループのGHG(CO2)排出量を2020年度比実質的に50%削減。			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	賛同済み			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	定性的な記載有			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリックス自動車はオリックス（株）の100%子会社のため、計画・方針はオリックスグループ同様です。 ・オリックスグループ「環境方針」において温室効果ガスの排出削減に向けて取り組みを推進を明記。 ・「環境方針」の上位にある「行動指針」において「環境方針」の適用範囲にサプライヤーを含むことを明記。 https://www.orix.co.jp/grp/company/sustainability/social/supply_chain/			

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<p>特になし。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	